

流通BMS対応が積極的に進む中国・四国地域

「第6回流通BMS普及推進説明会」開催のご案内

～流通システム変革の年となる2012年、見え始めた流通BMSの具体的な効果と導入しないリスクを解説～

日時

2012年 7/27 [金]
13:30～16:20 (受付13:00～)

費用

無償

会場

RCC文化センター
会場7F 会議室



JAPAN SUPERMARKETS ASSOCIATION



オール日本スーパーマーケット協会



一般社団法人
新日本スーパーマーケット協会
New Supermarket Association of Japan



VCA
Japan Voluntary Chain Association
一般社団法人日本ボランティアチェーン協会

主催：日本スーパーマーケット協会、オール日本スーパーマーケット協会、(一社)新日本スーパーマーケット協会、(一社)日本ボランティアチェーン協会

2012年は、GMS・リージョナルストアがレガシー手順を廃止し次々と流通BMS導入を本格化、流通システム変革の年となります。

日本スーパーマーケット協会、オール日本スーパーマーケット協会、一般社団法人新日本スーパーマーケット協会、一般社団法人日本ボランティアチェーン協会(以下、流通4団体)では、合同で『流通BMS普及説明会』を開催し、流通BMSの現在と将来の導入効果など、事例を通して分かり易い解説を行うとともに、レガシー手順を使い続けるリスクを解説いたします。また、流通4団体では、流通BMSの導入を支援するために選定しました、安価で導入サポートが手厚い流通4団体推奨EDIサービス[スマクラ]も合わせてご紹介させていただきます。皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

1 講演：『流通BMS普及促進事業について』

－なぜ今、流通BMSの導入を検討すべきなのか

13:30 ▶ 13:40 (10分)

新日本スーパーマーケット協会 事務局長 島原 康浩

2 講演：『流通BMSの概要と今後の活用方法』

－制定経緯、標準化の内容と効果、普及状況、今後の展望など

13:40 ▶ 14:00 (20分)

一般財団法人流通システム開発センター
流通システム標準普及推進協議会 上級研究員 栗田 和則 氏

3 講演：『現行業務の課題解決を流通BMSで実現』

－伝票レス化による業務効率向上など社内にもたらせられる効果に関して

14:00 ▶ 14:35 (35分)

株式会社イズミ 営業本部 物流課 課長 米谷 明浩 氏

4 講演：『【スマクラ】を活用した流通BMS導入事例』

－流通BMS導入事例の紹介「ヤオコー様」「サミット様」「セイミヤ様」

14:35 ▶ 14:55 (20分)

日本スーパーマーケット協会 流通推進部 篠原 豊

◆ コーヒーブレイク(10分) ◆

流通BMS普及促進DVD 「拡がる流通BMS」最前線レポート2011

5 講演：『流通BMS導入のきっかけと導入効果』

－業務のスピードアップと工数削減

15:05 ▶ 15:40 (35分)

株式会社ハローズ 取締役 経営企画部長 前田 秀正 氏

6 講演：『イオングループにおける全国と西日本での流通BMSの取組み』

－流通BMSへ2012年末完全移行をめざす

15:40 ▶ 16:15 (35分)

イオンアイビス株式会社 システム開発本部 本部長 北澤 清 氏

7 ご挨拶：『総括』

16:15 ▶ 16:20 (5分)

日本スーパーマーケット協会 事務局長 江口 法生

※「流通BMS®」は一般財団法人流通システム開発センターの登録商標です。

※講演内容および講師は、都合により予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。

2012年度は、中国・四国で流通BMS導入が、本格化 受発注システムのスタンダード仕様として普及・対応は必須



講演：『現行業務の課題解決を流通BMSで実現』

－伝票レス化による業務効率向上など社内にもたらされる効果に関して

2012年度より流通BMS導入・拡大

株式会社イズミ 営業本部 物流課 課長 米谷 明浩 氏

広島県を中心に87店舗、4500億円の売上を擁するイズミは、2011年5月に製・配・販連携協議会が策定した「流通BMS導入宣言書」に賛同。2012月11月を目途に155社、2013年11月を目途に400社稼働を宣言した。現在70社の導入を終え、順調に展開を進めている。

流通BMS導入に至った経緯と進め方

昨年末より、流通BMSの導入の社内検討に入り、伝票による課題を流通BMSを利用して解決する方針を掲げ、営業本部（商品・物流）と経営企画（システム）の両輪で展開を進めている。方針の策定、導入するまでの社内手続き、取引先への説明方法、導入の効果、苦労した点などを分かりやすく紹介いたします。

※同席 経営企画部 情報管理課 課長 平村 正典 氏

講演：『流通BMS導入のきっかけと導入効果』

－業務のスピードアップと工数削減

株式会社ハローズ 取締役 経営企画部長 前田 秀正 氏

スーパーが抱える様々な課題の解決を目的に流通BMSを導入

岡山県・広島県を中心に48店舗、714億円の売上を擁するハローズでは、伝票入力業務の負荷が大きいこと、店舗数増加に伴うデータ伝送時間の増大などの問題をかかえていたことから、伝票レスやデータ連携スピードアップを目的として2009年に新EDIシステムの導入に踏み切りました。流通BMSに期待される効果について紹介いたします。

伝票レス・請求レスを実現

ハローズでは流通BMS導入後、伝票レスにより経理業務の省力化を実現。また請求レスによって月末の照合業務を軽減。これらの効果について紹介いたします。

導入時にこんなことを考慮しました

実際に流通BMSを導入するにあたり、社内への説明や取引先への導入フォローに気を遣ったというハローズ。これから導入されるスーパー企業様に向けて具体的な導入プロセスを紹介いたします。

講演：『イオングループにおける全国と西日本での流通BMSの取組み』

—流通BMSへ2012年末完全移行をめざす

全ての業態に対応した標準EDI「流通BMS」

食品スーパー、チェーンドラッグストア、ホームセンター、アパレル等の全ての業種・業態のメッセージを標準化した流通BMSはGMSのEDIとして最も適した仕様である。2012年末までに流通BMSへ完全移行を目指すイオングループの戦略について紹介します。

旧EDIの課題が深刻化！

イオングループ全体で5兆円の売上があり、30年前に制定されたJCA手順では、受発注が出来なくなるリスクを抱えており、情報システム部門としては事業継続を担保するため、流通BMSへの移行を計画した。移行の経緯と取組みについて紹介します。



イオンアイビス株式会社
システム開発本部 本部長

北澤 清 氏

全国と西日本での流通BMS展開状況について

イオンでは、全国の取引先3500社に対して流通BMS導入の説明会を開催している。中国・四国のグループにおいても、マックスバリュ西日本等の企業で流通BMSの導入が決定している。全国と西日本での取組みについて紹介します。

講演：『流通4団体での流通BMS普及促進事業について』

—なぜ今、流通BMSの導入を検討すべきなのか

新日本スーパーマーケット協会 事務局長 島原 康浩

「インフラは共有、競争は商品と店頭へ」

なぜ流通BMSにスーパーマーケットが取り組まなければいけないのか？流通4団体による流通BMS普及促進事業と共同利用型「スマクラ」の取組みについて紹介します。

講演：『流通BMSの概要と今後の活用方法』

—制定経緯、標準化の内容と効果、普及状況、今後の展望など

一般財団法人 流通システム開発センター流通システム標準普及推進協議会 上級研究員 栗田 和則 氏

2012年、流通BMSは本格普及へ

流通BMSの制定の経緯と意義、現在の導入企業の公開、普及に向けた取組みの解説を行います。また、流通BMS導入後の活用方法についても紹介いたします。

講演：『【スマクラ】を活用した流通BMS導入事例』

—流通BMS導入事例の紹介「ヤオコ様」「サミット様」「セイミヤ様」

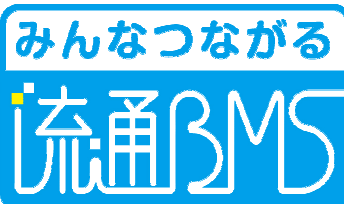
日本スーパーマーケット協会 流通推進部 篠原 豊

広域型スーパーの「ヤオコ様」「サミット様」での導入効果、茨城県のローカルストア「セイミヤ様」での導入効果、規模別の導入理由と効果を紹介いたします。



流通BMS普及促進DVD上映（流通システム開発センター作成）

「拡がる流通BMS」最前線レポート2011 ～経営トップに聞く導入のメリット～



企業トップ・有識者が語る「流通BMS」

- | | | | |
|------------------|---------------|-------|---|
| ・日本スーパーマーケット協会 | 会長 | 川野 幸夫 | 氏 |
| ・伊藤忠食品株式会社 | 代表取締役 社長執行役員 | 濱口 泰三 | 氏 |
| ・(財)流通システム開発センター | 研究開発部部長 | 坂本 尚登 | 氏 |
| ・イオン株式会社 | 執行役 グループ商品責任者 | 久木 邦彦 | 氏 |
| ・経済産業省 商務情報政策局 | 流通政策課 課長 | 佐合 達矢 | 氏 |

「流通BMS普及推進事業 スマクラ」事務局 行

FAX
No.

03-5290-3021

「第6回流通BMS普及推進説明会」参加申込書

本紙末尾に記載された「個人情報の取扱い」に同意のうえ、

説明会への参加を希望します。（参加ご希望の場合チェックしてください。）

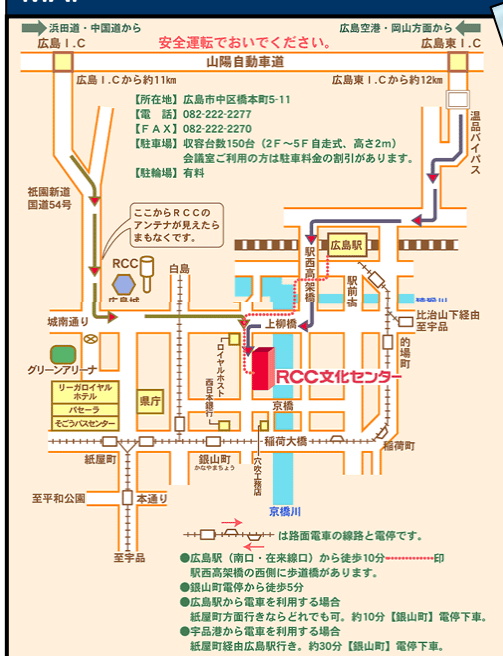
必要事項をご記入し、FAXにてご送付ください。

参加お申し込みされた方には受講票をメール又はFAXにてお送りいたしますので、当日ご持参下さい。

※3名様以上の参加ご希望の場合は、お手数ですが複数枚の申込書のご提出をお願いいたします。

貴社名				
	お名前	ご所属	お役職	e-mailアドレス
①				
②				
③				
ご連絡先		TEL. FAX.		
ご住所		〒		

MAP



ご来場いただいた方
全員に流通BMSが
よくわかる冊子3冊
をプレゼント！

- ・（財）流通システム開発センター
「流通BMS導入の手引き」
- ・（株）商業界 販売革新2月号別冊、7月号別冊
「Retail IT Innovation ～流通BMS待ったなし！」

開催日時 : 2012年7月27日（金）
13：30～16：20（13：00より受付開始）

会 場 : RCC文化センター 7F会議室

参加定員 : 40名（申し込み順）
参加費用 : 無料

お 申 込 方 法 : 参加申込書（この用紙）に必要事項をご記入いただき、
FAXにてお申し込み下さい。

お 申 込 締 切 : 2012年7月18日（水）

お 問 合 わ せ : スマクラサービスデスク : 0120-08-3031
スマクラメールアドレス : sys-smcl.sp@mk.scsk.jp

※主に小売業様向けとさせていただきますため、参加定員を超えた場合、卸売業・製造業の企業様にはご参加をお断りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

参加申込書にご記入いただきました個人情報は、流通4団体およびSCSK様にて、下記の目的で利用させていただきます。

①流通4団体およびSCSK様が開催（主催・共催・協賛・後援）する説明会・セミナー・展示会等に関するご案内、本説明会に関するご連絡

②流通4団体およびSCSK様が企画する商品・サービスに関するご案内、および各種アンケートのご依頼

※SCSK様に関連するご案内・ご依頼に関しましては、SCSK様（個人情報統括管理責任者：広報・法務・総務グループ分掌役員 鈴木久和）からご連絡いたします。

なお、流通4団体およびSCSK様では、業務を円滑に遂行する為、必要な範囲でお客様の個人情報を委託する場合があります。委託先に対して個人情報の取扱いに関する契約の締結や適切な監督を行います。前記の委託先以外の第三者へ開示・提供することはありません。

ご記入いただきました個人情報についてのお問い合わせや開示・訂正・利用停止・削除等のご請求につきましては、【スマクラサービスデスク】までご連絡下さい。